

令和3年度版

『夏の友』の手引き

『夏の友』を使って、夏休みの指導をしましょう



『夏の友』ができて70年以上経ちました。

戦後、夏休みの生活や学習のガイドブックとして、『夏休みの友』などの出版物が全国的に出版・編集されてきました。しかし、その多くは、時代の変遷の中で姿を消してしまいました。

そんな中で、岐阜県の『夏の友』は、今でも出版・編集が続けられ、多くの小学生に活用されています。それぞれの時代の教育に対する考え方を見すえ、現場の教師の力によって毎年改善されてきました。今年度版も50名以上の教師が執筆・編集にあたっています。

『夏の友』は、長い夏休み、子供たちが豊かな体験と感動のある生活をする中で、生きる力をつけるよう、生活や学習のガイドブックとして使ってもらえるよう編集しています。

そんな歴史を感じながら、じっくり手にとってみてください。そして、『夏の友』を使って、夏休みの指導をしてください。

1 『夏の友』が届いたら、教師がまず目を通しましょう。



- ・どんな内容があるのか、じっくり目を通してください。
- ・計画づくり、事後指導ができる編集がされています。事前指導に生かしてください。

2 『夏の友』とのすてきな出会いを工夫しましょう。



- ・まず子供たちが目を通す時間をつくってください。
- ・70年前の子供たちも『夏の友』を使っていたことなど、『夏の友』の歴史を語ってください。
- ・『夏の友』は宿題ではなく、ガイドブックであることを話してください。

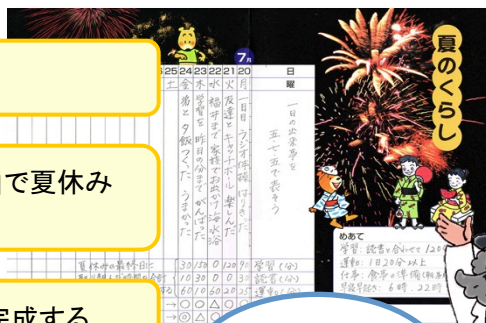
3 『夏の友』を使って、夏休みの計画を立てましょう。

① 「夏のくらし」を使って、計画を立てる。

② 『夏の友』の「続けてできる仕事をみつけよう」で夏休みの仕事(手伝い)の計画を立てる。

③ 事前指導のあと、家で相談して計画づくりを完成する。

④ 学校で一人一人が立てた計画を確認する。



「夏のくらし(計画表)の使い方」も参考にしてください。





子供たちが楽しめる表紙づくり

表紙は、図画工作の学習指導要領の内容から、学年の発達に合った内容にしています。子供たちが、自分でつくり使ったりできる楽しい表紙になっています。

家族や友達と相談したり協力したりして表紙をつくって、遊ぶことができるゲーム性もっています。長い夏休みだからこそ、ただつくるだけでなく、家族や友達とのコミュニケーションを大事にするようご指導ください。

・「表紙で遊ぼう」のページを見せ、どんなものができるか考えながら、つくる楽しさを感じさせてください。

夏休みの計画づくりと振り返りが大切！

夏休みのめあてづくり、仕事(お手伝い)、運動など子供たちができる限り自分の力で、夏休みの計画を立てたり、振り返ったりできるような内容になっています。「おうちの方へ」では、保護者へのアドバイスも伝えています。

付録の「夏のくらし」(計画表)も工夫して活用してください。学校でつくられる場合もありますが、「夏のくらし」は誰でも使いやすいように考えてつくられています。

- ・夏休みの事前指導として活用してください。
学校で事前指導→家族と相談して計画づくり→学校で確認
- ・最終ページは、夏休み後の「宝物発表会」に活用してください。



夏休みの読書生活の参考にしよう！

夏休みの読書生活の参考にできるよう、いろいろなジャンルの図書(近年発行されたもの)の紹介、県内の図書館の紹介をしています。岐阜県の先生方が執筆された創作童話も楽しく読むことができます。

- ・夏休みはじっくり本が読めるとき。いろいろなジャンルの本が読めるよう指導に生かしてください。
- ・読書記録のため、「わたしが読んだ本」の欄を利用してください。



家庭や地域での豊かな体験の参考にしよう！

豊かな心を育むためには、家庭や地域社会において、豊かな体験を積み重ねていくことが大切です。そこで、「家族」「仲間」「地域行事」「平和」「環境・福祉」「国際理解」の観点から、県内各地で行われている行事や活動を紹介しています。自分も行ってみたい、やってみたいと思えるよう、子供たちの豊かな体験の参考にしてください。

- ・夏休みはいろいろな体験ができるとき。じっくり読ませて、体験の計画づくりや意欲づけに活用してください。



郷土岐阜県の自然・歴史を自分の目で確かめよう！

「ふるさとよみもの」は、子供たちが興味・関心をもって読むことができるように、学年の発達段階を考えた内容になっています。各学年2つの読み物があります。家族と一緒に読むことをお勧めください。

また、県内にある自然・歴史・産業等に関する施設も紹介しています。子供たちが夏休みに家族と一緒に見学したり、体験したりするのに役立つように編集してあります。

- ・興味をもたせるよう、夏休みの前に内容にふれ、指導してください。
- ・懇談会等で、保護者にも内容を紹介します、見学などをお勧めください。



子供たちの「宝物づくり」のもとにしよう！

「宝物づくりなんでも情報室」は、「いろいろな宝物」「宝物のつくり方（調べ方・まとめ方）」「友達の宝物紹介」の内容があります。

「友達の宝物」は、前年度の夏休みの作品の中から参考になりそうな作品を掲載しています。

「宝物づくり」は、「体験する」「つくる」「調べる」ことを大切にした内容構成になっています。

- ・宝物をつくったり、まとめたりする参考になるようないろいろな例が紹介してあります。宝物づくりの計画等に活用してください。

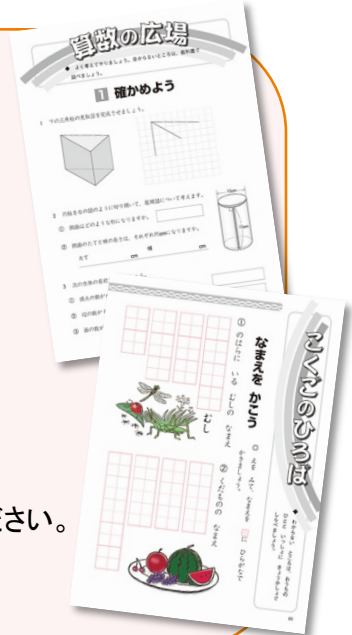


国語と算数 ここだけは確かめ、理解しよう！

「国語と算数の広場」は、学習指導要領の趣旨に照らし合わせて、夏休みまでの学習内容の中で、「ここだけはどの子にも理解してほしい」という問題を掲載しています。学習したことが定着しているか、確かめに使ってください。夏休み明けの確認テストに利用することもできます。

『夏の友』の問題を増やしてほしいという要望もありますが、反復練習や発展的・補足的な学習については、学年や学級で、ドリルやプリント等を使って、個に応じた指導をしてください。

- ・まとめてやるのではなく、計画的に取り組みましょう。
- ・必ず答え合わせをして、できたかどうか確かめましょう。
- ・答え合わせは、低・中学年は家族と、高学年は自分で行うようにしてください。
- ・できなかったところや分からなかったところは、教科書や辞典等で調べ繰り返し学習するよう、ご指導ください。



裏表紙を読んでみよう！

私たちのふるさと岐阜県には、かけがえのない自然や文化がたくさんあります。裏表紙は、そんな岐阜県の宝物を紹介しています。見学したり、体験したりできるように地図もつけていますので、岐阜県にはどんな宝物があるか、子供たちに興味をもたせるきっかけにしてください。



子供たちへの事前指導のポイント

- ① 子供たち自身がめあてをつくり、計画を立てられるよう指導してください。
- ② その際、一人一人の個に応じた助言をしてください。
- ③ 「夏のくらし」(計画表)をもとに、おうちの方に必ず見届けてもらうよう指導してください。
- ④ 「夏の宝物コーナー」と「夏の思い出アルバム」の書き方を指導してください。

保護者への事前指導のポイント 保護者が一緒に取り組み、見届けることを

夏休み前の学級懇談会(保護者会)や学年・学級通信で……

- ① 『夏の友』が宿題ではなく、夏休みのガイドブックであることを伝えてください。
- ② 『夏の友』をじっくり見てもらい、「おうちの方へ」にも目を通してもらってください。
- ③ 子供の計画づくりに参加してもらってください。
- ④ 子供たちにいろいろな体験をさせることの重要性を伝えてください。
- ⑤ 特に低・中学年の子供たちの取り組みや進捗状況を見届けることの大切さを伝えてください。

※ 「保護者用の手引き」もご活用ください。

子供たちへの事後指導のポイント

① 『夏の友』『夏のくらし』を集めたら

- ・夏休みの頑張りを認める内容を書く。(一言でもよいので)
- ・学習のできていなかった部分を確認し、指導の参考にする。
- ・なるべく早く子供に返却する。

② 夏休み宝物発表会を行う

- ・「夏の宝物コーナー」を発表に活用させる。
1つ目は… 2つ目は… 3つ目は…
- ・『夏の友』の表紙をどのようにつくったか、交流をする。

③ 子供たちの宝物づくりのまとめ

- ・宝物に教師からの一言(よいところみつけ)を書く。
- ・夏休みの作品募集へ出品する。

「夏休みの詩と作文
コンクール」への応募を
勧めてください。



夏だったよ
夏の たからもの コーナー
楽しかった こと、がんばった ことなどを
思い出して 書いて みよう。

思い出に のこって いる こと
一つ目は、 _____ ですよ。
二つ目は、 _____ ですよ。
三つ目は、 _____ ですよ。

ここに教師の評価を

〈編集委員会からのお願い〉

- ・来年度版の『夏の友』で紹介する宝物作品を募集しています。児童が夏休みに作成した作品の写真を撮って、データを貴都市の出版事業委員の校長先生にお送りください。
- ・『夏の友』の活用事例がありましたら、貴都市の出版事業委員の校長先生又は岐阜県校長会館までお知らせください。